



「ゆ」から世界を新しく。

GOKURAKUYU
HOLDINGS

第三者割当による第26回新株予約権 発行に関する補足説明資料

2022年3月25日

(東証JASDAQ コード：2340)

株式会社極楽湯ホールディングス

国内NO.1 温浴チェーン (店舗数日本一)

「極楽湯」「RAKU SPA」ブランドで 国内40店舗(直営28店舗・FC12店舗)の温浴施設運営

《近年の出店状況》

2019年7月 株式会社タカチホより温浴事業(5店舗)を譲受け、直営店としてオープン

2020年4月 エオネックスグループへ資本を入れ、メンテナンスの効率化を目指す
“祥楽の湯”2店舗がグループに加わる

中国で温浴事業 (直営とフランチャイズ展開)

人口世界No.1であり、高度経済成長国の中国に2011年に進出

2013年、上海に海外1号店をオープン。現在直営3店舗運営

《近年の出店状況》

2019年1月 「極楽湯 欧亜温泉館」(長春市) (直営店) がオープン

2019年10月 「極楽湯 宝山温泉館」(上海市) (FC店) がオープン

2021年5月 「極楽湯 金銀罈店」(武漢市) (FC店) がリニューアルオープン

2021年1月 「極楽湯 即墨温泉館」(青島市) (FC店) がオープン

2021年7月 「極楽湯 百万石温泉街」(上海市) (FC店) がオープン

(2021年12月31日現在)



国内事業（日本）

極楽湯
ごくらくゆ



「日常生活の延長線上に癒しを提供する」
をコンセプトに展開する日帰り温浴施設
直営のほか、フランチャイズ形式で出店



RAKU SPA

特に若い世代を中心にお風呂と合わせて広々とした
館内で多くの遊べるコンテンツを盛り込み、癒しと
遊び心が詰まった、楽しめる温浴施設
“RAKU SPA Cafe” や “RAKU SPA GARDEN”、
“RAKU SPA 1010(セントウ)”といった特色ある
シリーズで出店

海外事業（中国）

GOKURAKUYU
極楽湯



国内の平均店舗の約6倍の広さをもつ館内に
日本の「和」を感じる空間をデザイン、
国内店舗と同等の衛生管理、癒しなど
「おもてなし」サービスの提供を目指す。
直営店のほか、フランチャイズ形式で出店



「ゆ」から世界を新しく。
GOKURAKUYU
HOLDINGS

資金調達を通じた財務安定化・成長戦略の推進

金融機関からの借入金の返済

- ・ シンジケートローン及びその他既存借入残高低減による財務体質の改善
- ・ 事業環境の変化に対する財務柔軟性を確保

+

既存店舗の更新投資

- ・ 国内における既存店舗の補修及び改装に係る継続的な設備投資を推進
- ・ 当社グループが掲げる成長戦略の実現

具体的な資金使途	金額（百万円）	支出予定時期
金融機関からの借入金の返済資金	1,078	2022年12月～2025年3月
既存店舗の更新投資資金	350	2022年10月～2025年3月

株価動向によらず、最大発行株式数は4,900,000株（2021年9月30日の総議決権数に対し24.48%）に固定。

	第26回新株予約権
割当日	2022年4月11日（月）
新株予約権個数	49,000個
潜在株式数（最大希薄化率）	4,900,000株 （2021年9月30日の総議決権数に対し24.48%）
資金調達額	1,427,680,000円（差引手取概算額）
行使期間	2022年4月12日（火）～2025年4月30日（水）
割当予定先及び割当方法	SMBC日興証券に第三者割当
当初行使価額	292円
上限行使価額	なし
行使価額修正	各行使請求の効力発生日の前取引日における普通株式の普通取引の終日の売買高加重平均価格の90%に相当する金額に修正
下限行使価額	146円（発行決議日前営業日終値の50%に相当する金額）

質問	回答
今回の資金調達スキームを選んだ理由は？	S M B C日興証券より、第三者割当による本新株予約権の発行及び本ファシリティ契約の提案を受け、資金調達金額や時期を当社が相当程度コントロールすることにより、急激な希薄化を抑制するとともに、既存株主の利益に配慮しつつ株価動向に合わせた資本調達が可能となる、本ファシリティ契約付の本新株予約権の発行が現時点における最良の選択であると判断しました。
本スキームの主な特徴は？	行使停止指定条項により、当社は、当社の判断によりS M B C日興証券に対して本新株予約権を行使することができない期間を指定することができ、資金需要や株価動向等を見極めながら、資金調達の時期や行使される本新株予約権の量を一定程度コントロールすることができます。また、S M B C日興証券は、行使可能期間中、上記の本新株予約権の行使が制限されている場合を除き、残存する本新株予約権を行使するよう最大限努力します。
本資金調達スキームのメリットは？	本新株予約権の目的である当社普通株式の数は4,900,000株で一定であるため、株価動向によらず、本新株予約権の行使の結果交付されることとなる当社普通株式数が限定されていることにより、希薄化を限定し、既存株主の利益に配慮しています。また、本新株予約権には上限行使価額が設定されていないため、株価上昇時には希薄化を抑制しつつ調達金額が増大するというメリットを当社が享受できることで、既存株主の利益に配慮した資金調達が可能となっています。
本資金調達スキームのデメリットは？	①S M B C日興証券が本新株予約権を行使した場合に限り、資金調達がなされるものとなっているため、満額の資金を短期間で調達することは困難です。②行使価額の修正により全ての新株予約権が行使されても満額の資金調達ができない可能性があります。③株価や出来高等の状況によっては権利行使が進まず、資金調達及び資本増強がなされない可能性があります。加えて、当社は、S M B C日興証券が2025年4月30日時点で保有する本新株予約権の全部（ただし、同日に行使された本新株予約権を除く）を、本新株予約権1個当たりにつき払込金額と同額で直ちに買い取る義務を負います。④最大希薄化株数が限定された場合においても、本新株予約権全てが行使されるとは限らないため、行使終了まで最終的な希薄化を確定させることができません。

質問	回答
株式はいつ発行されますか？株価への配慮はどうなっていますか？	行使可能期間は約3年間（2022年4月12日から2025年4月30日）ですが、本ファシリティ契約は、当社とSMBC日興証券との間で、SMBC日興証券が本新株予約権を行使するよう最大限努力することや、行使停止指定条項等について取り決めるものであります。これらの取り決めにより、行使可能期間において本新株予約権の行使が進むことで当社の資金調達及び資本増強を図りつつ、資金需要や株価動向等を見極めながら、当社の判断により行使指定や停止指定を行うことで資金調達の時期や行使される本新株予約権の量をコントロールすることが可能となります。
希薄化の規模は？	本新株予約権の全てが行使された場合には、2021年9月30日の総議決権数200,170個に対して24.48%の希薄化が生じます。
割当先としてSMBC日興証券を選んだ理由は？	SMBC日興証券より提案を受けた本資金調達の手法及びその条件は、既存株主の利益に配慮し当社株式の急激な希薄化を抑制するとともに、株価動向等を見極めながらエクイティ性資金を調達し、本資金調達の目的及び中期的な経営目標の達成に向けて、財務の柔軟性を確保しながら安定的かつ強固な経営基盤を確立することに重点を置いている当社のニーズに最も合致しているものと判断しました。その上で、SMBC日興証券が今回の資金調達の実施にあたり十分な信用力を有すること、国内外に厚い顧客基盤を有する証券会社であり今回発行を予定している本新株予約権の行使により交付される普通株式の円滑な売却が期待されること等を総合的に勘案して、SMBC日興証券への割当てを決定しました。
今回、SMBC日興証券へ貸株を行う予定はありますか？	当社代表取締役社長グループCEOである新川隆丈及び取締役の羽塚聡より貸株を行う予定であります。

質問	回答
もし株価が下落し続けた場合はどうなりますか？	本新株予約権には下限行使価額が設定されているため、株価下落時における当社普通株式1株当たり価値の希薄化というデメリットを一定限度に制限できることで、既存株主の利益に配慮した資金調達が可能となっています。具体的には、本新株予約権の下限行使価額を146円（発行決議日の直前取引日の終値の50%に相当する金額）に設定しました。
今期業績に与える影響は？	第三者割当による本新株予約権の発行による影響は、その効果が中長期的におよぶものであり、当期（2022年3月期）の業績に与える影響は軽微であります。なお、今回の調達資金は、プレスリリース本文記載の用途に充当することにより、将来の業績に寄与するものと考えております。

本資料の取り扱い（留意事項）について

- 本資料は、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。本資料は投資家の参考に資するため、株式会社極楽湯ホールディングス（以下、当社といいます。）の現状をご理解いただくために、当社が作成したものです。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により本資料の記述内容と大きく異なる可能性があります。将来に関する記載について、当社はいかなる表明や保証をするものではなく、またこれを更新する義務を負いません。
- 将来の展望に関する情報は、様々なリスクや不確からしさを内在しております。
- なお、投資を行う際には、必ず投資家ご自身のご判断で行っていただきますようお願いいたします。
- 内容に関する一切の権利は当社に帰属しています。複写及び無断転載はご遠慮下さい。

お問い合わせ先: ir@gokurakuyu.ne.jp

